

廃棄物処理施設見学バスツアーの実施結果について（平成27年度第3回）

栃木県環境森林部廃棄物対策課

1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、一般家庭から出るごみや住宅の解体工事、自動車の製造過程から出るごみ等を処理する施設であって、県民の皆様の生活や地域の経済活動を支えるために必要不可欠なものです。

しかし、普段の生活で廃棄物処理施設を実際に見る機会は非常に少ないのが現状です。

そこで、県では、平成22年度から、関係団体と連携し、県民の皆様に直接施設を見学していただき、廃棄物処理施設に対する理解を深めてもらうことを目的としたバスツアーを企画しています。

2 ツアーコンセプト

今回のツアーでは、破碎施設や油水分離施設における廃棄物処理の様子や食料品製造工場における廃棄物の発生抑制の様子等を通じて、廃棄物や廃棄物処理施設について学んでいただけるようなツアーとしました。

3 実施日

平成28年3月5日（土曜日）

4 参加者

26名（うち小学生2名）

5 見学ルート

8:45 県庁出発

10:00～11:15 遠藤食品(株)

【佐野市にある食料品製造工場。漬物製造ラインを見学】

13:00～14:10 ㈱ダイセキ第3工場

【佐野市にある産業廃棄物の油水分離施設。産業廃棄物が油水分離処理され、再生重油が製造される工程を見学】

14:10～16:00 ㈱フライトワン

【足利市にある産業廃棄物の破碎施設。産業廃棄物が破碎処理され、固形燃料が製造される工程を見学】

17:15 県庁到着



6 当日の様子

- ・ 参加者の皆さんは、大変熱心に施設を見学していました。また、質疑応答の際には、廃棄物の処理方法、環境対策等に対して多くの質問が出され、施設の担当者とは活発なやり取りがありました。
- ・ 参加者のアンケートには、「漠然としか知らなかったリサイクルについて知るすばらしいツアーでした。」、「産業廃棄物業界へのイメージが良くなりました。」等の意見が寄せられました。

7 今後について

来年度についても、3回程度、バスツアーを開催する予定です。詳細は県民だよりや県廃棄物対策課のホームページ等でお知らせします。

廃棄物処理施設見学バスツアー(平成27年度第3回)アンケート結果

○ 参加者:26名 ○有効アンケート回答数:26件

Q.1 性別を教えてください。 & Q.2 年代を教えてください。 (単位:名)

男性	女性	~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~
10	16	2	0	1	3	4	9	6	1

Q.3 バスツアーをどのように知りましたか。(複数回答有)

①県民だより	②新聞記事	③ホームページ	④学校からの紹介	⑤家族等の紹介	⑥その他
8	11	2	3	3	1

Q.4 参加の理由は何ですか。(複数回答有)

①環境・廃棄物に興味	②処理施設を見たことがない	③その他
15	18	0

廃棄処理や環境に関して、食品会社でどんな取り組みをしているのかわかった。

Q.5 遠藤食品(株)について

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	無回答
22	0	3	1

廃棄されていると思っていたものが再利用される。広く知ってもらいたい。

Q.6 (株)ダイセキ第3工場について

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	無回答
24	0	2	0

全てが驚きで、産廃物の選別から、再生燃料のできあがるまでを身をもって知ることができた。

Q.7 (株)フライトワンについて

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	無回答
23	0	1	2

Q.8 今回のバスツアーは、廃棄物の処理や廃棄物処理施設に対する理解を深める上で参考になりましたか。

①参考になった	②参考にならなかった	③どちらでもない	④無回答
24	0	1	1

Q.9 Q8で「参考になった」と回答した方にお聞きします。具体的に何の理解が深まりましたか。(複数回答有)

①処理施設の役割	②処理施設の安全性	③製造業者の取組姿勢	④処理業者の取組姿勢
16	13	9	20